

# 「認定校」制度要項

## ～目次～

- ・ 認定校制度とは . . . . . 2P
- ・ 認定校「対象校」と「認定科目」 . . . . . 3P
- ・ 認定校の申請方法（審査・更新・変更・解約など） . . 4P
  - ・ 認定申請書
  - ・ 対応履修科目一覧
  - ・ 対応履修科目一覧（記入例）
- ・ 環境再生医認定者の輩出について . . . . . 8P
  - ・ 認定申請書
  - ・ 認定推薦者名簿

### ● 「認定校」決定までの流れ

#### ① 貴校での「必要単位取得方法」の決定

- 1、科目履修のみで取得
- 2、科目履修＋不足科目を特別講義で補完
- 3、環境再生医カリキュラムの科目を新設



#### ② 必要書類のご提出

- 1、認定校申請書（様式-1）
- 2、資格認定対応科目単位一覧表（様式-2）
- 3、該当科目内容の詳細（シラバス等）
- 4、学校パンフレット（対象の学部・学科等を紹介したもの）



#### ③ 認定校の審査(Narec)



#### ④ 「認証書」「覚え書き書」の交付



認定NPO法人  
**自然環境復元協会**  
Association for Nature Restoration and Conservation, Japan

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-3-13-301

Tel : 03-5272-0254 Fax : 03-5272-0278

e-mail : info@narec.or.jp

URL : <http://www.narec.or.jp>

# 1. 認定校制度とは

- 認定校制度の正式名称は、環境再生医初級資格認定委嘱認定校制度です。  
環境再生医制度の初級検定に関して学校側に委嘱する制度で、学校担当責任者から推薦のあった者に対し、当協会が「環境再生医初級資格」の認定を行うものです。また本資格制度では、就職活動前に資格が取得できるよう、取得時期なども特例的扱いを認めております。
- 認定校制度とは、「環境人材」として熱意と才能ある学生に対し、環境再生医初級の資格を卒業前に授与し、社会で活動しながら「自然と人が共生できる社会作り」に貢献できる人材を、学校と連携して育成しようとするものです。また、「環境への正しい知識と考え方を持った若手人材」を、業種や分野に関わらず広く排出することも必須と考え、この認定校制度を進めさせていただいております。

## 環境再生医について

### ●「環境再生医」とは

環境の再生や保全に関する知識と技術を持っていることを証明する資格です。ただし自然環境を相手にするには、広大な知識と技術が必要となり、それを全て持つことはおそらく宇宙全体を理解するに近く、人間の能力では不可能と考えます。そのため、環境再生医制度では、それらを一部専門的に持つ方々をネットワークし、必要に応じて各自の能力を活かしてご活動いただく形を目指しています。また、環境再生医の方々があたかも町医者のように全国に存在し、ご地元でなくてはわからない経験値を持って、各フィールドでご活躍されることを期待しています。

### ●環境再生医の特徴

現在、数多くの環境系資格が設定されていますが、環境再生医では『自然環境だけでなく、自然と人間の関係性の再生についても学ぶこと』に力を入れていることが特徴です。また、いろいろな分野・立場の方が取得していることも大きな特徴となっており、現在、約4000人の方々が全国で環境再生医として活躍しています。

(取得者例)

- ・NPOや団体関係者・環境活動市民・教育関係者・行政機関関係者・企業CSR担当者
- ・農林漁業・建設業・土木業・造園業・自然をテーマにした店舗関係者 など

### ●「自然環境復元協会」について

平成元年に関係各分野の専門家の集合によって結成された全国組織であり、環境理念の構築と啓発、知見や技術の高揚、環境教育と国民的啓発そして人材の育成と輩出を図ってまいりました。平成12年にNPO法人化、多くの市民活動家や学識者および実務家が相互に研鑽や交流を行い、各分野で活発に活動を展開しています。

## 2. 認定校「対象校」と「認定科目」

### 1. 対象となる学校（学部・学科・コース）

- ① 学科単位以上が原則であるが、コース単位においても可能とする。
- ② 下記の第2項に示す環境再生医初級資格認定講習の履修科目 5 分類に相当する内容を含んだ環境関連該当科目について、2 カ年以上にて合計 10 単位以上の履修を行っている大学や短期大学、専門学校。
- ③ 同上履修科目 5 分類が網羅された専用テキスト「環境再生医」を使用して、第3項の単位特例を適用して、4 単位または 2 単位以上の履修を行う、4 年制大学および 2 年制以上の短期大学および専門学校。

### 2. 環境再生医資格認定に必要な履修科目と単位数

履修科目総称	修得内容(コンテンツ)	必要単位数	
1. 地球環境の危機と自然生態系	生物や自然に関する基礎知識と、生物多様性の危機等、地球環境危機の要因についての理解。	2 単位以上	合計 10 単位 以上
2. 自然環境の保全と再生	農山村や河川、都市等における自然環境の保全・再生の動向及び技術についての基礎的な知識。	2 単位以上	
3. 物質資源の循環と循環型社会	資源や物質に関する循環型社会の構築について、課題に対する理解と基礎的な知識。	2 単位以上	
4. 環境教育と市民活動	学校教育や生涯学習における環境学習の動向と課題についての基礎的な理解。	2 単位以上	
5. 環境行政と関係法令	環境の保全・再生に関する国際条約や環境関連法の内容や行政施策について基礎的な知識を習得する。	2 単位以上	

### 3. 専用テキスト「環境再生医」を履修した場合の単位「特例事項」

- ① 専用テキストを教科書とした科目設定(既設科目内も可)の上で全編を 4 単位として 1 年間(前期・後期)の履修を行った場合は、この 4 単位取得のみで資格認定の対象とする。
- ② 専用テキストを不足科目の補完として、正規科目の副教材または特別授業として使用した場合は、その履修により該当科目 2 単位相当と認め、その他所定の対応関連科目 4 科目・8 単位以上の取得によって資格認定の対象とする。

### 4. ガイドンスの実施、専用リーフレットの配布

全ての認定校において本資格取得への理解のため、ガイドンス実施(1 時間程度)、専用リーフレット配布(本協会にて作成)を必ず実施することとする。必要に応じ、本協会から説明者を派遣することも出来る。

### 5. 資格認定・登録料

- ① 学校からの認定推薦により、本協会が資格認定書の交付を行う。
- ② 認定料は、8,000 円とする。
- ③ 認定料納付は、学校にて一括で本協会の指定金融口座(郵便振替または銀行)に納付する。  
もし否めない事情がある場合、学生個別による郵便振替納付も可能とする(ただし、納付完了までは学校が責任を持つ)。
- ④ 納付された認定料は、いかなる状況が発生しても一切返還されないとする。

### 3. 認定校の申請方法(審査・更新・変更・解約など)

#### ●申請書類の送付

下記①～③を本協会事務局「認定校係」宛に郵送してください。

※書類フォーマットは本冊子に添付されています。

※登録は学科単位で行います。

#### 1、「書類①」について

- ・複数の学科登録を希望する際は、①は貴校のご担当者が1名の場合は1枚、ご担当者が2名以上の場合は人数分をご用意ください。
- ・責任者は学科長以上でお願いします。

#### 2、「書類②」について

- ・登録を希望する学科の数だけご用意ください。
- ・認定方法については、「認定科目最低単位取得のみ」でも全く問題ありません。  
ただし、本協会としましては、単位数については、最低単位(合計10単位以上)よりも、多くの学校が採用している「20単位前後」を希望いたします。また、学内試験・特別講義などの併催は、環境再生医としての理念や理解向上のためにも大変歓迎いたします。

- ①「環境再生医初級認定校 認定申請書(様式-1)」(5P)
- ②「環境再生医初級認定講習の対応履修科目一覧(様式-2)」※<sup>1</sup>(6P)
- ③添付書類
  - ・対象履修科目の詳細(シラバス等)
  - ・学校パンフレット(対象の学部・学科などを紹介したもの)

#### ●認定校審査

申請書類をもとに、本協会の環境再生医制度委員会が審査を行い、認証は本協会理事長が行います。審査結果を認定校ご担当者に連絡いたします(申請書提出から2ヶ月程要します)。

#### ●覚書書の取り交わし

「環境再生医初級資格認定実施校 委嘱・受諾覚書」の取り交わしとともに、「環境再生医初級資格認定実施校 認定証」を交付し、認定校登録は完了となります。

#### ●契約期間

契約の有効期間は5カ年間とし、双方に異議がなければ、自動でさらに5ヶ年単位で延長となります。(延長の際の通知書などは特にありません)

#### ●契約解除

契約期間内であっても、双方協議の上で解約・委嘱解除が可能です。

#### ●変更

認定対象となったカリキュラム(科目・単位)に変更が生じた際は、必ず本協会の承認を得てください。

NPO 法人自然環境復元協会 宛

## 環境再生医初級認定校 認定申請書

## 1. 認定校を申請する学校・学部・学科名

\_\_\_\_\_

## 2. 所在地等

郵便番号：〒 \_\_\_\_\_

住 所： \_\_\_\_\_

電話番号： \_\_\_\_\_

FAX 番号： \_\_\_\_\_

URL (ホームページ)： \_\_\_\_\_

## 3. 担当者及び連絡先

所属役職 \_\_\_\_\_ 氏 名： \_\_\_\_\_

郵便番号：〒 \_\_\_\_\_

住 所： \_\_\_\_\_

電話番号： \_\_\_\_\_

FAX 番号： \_\_\_\_\_

e-mail： \_\_\_\_\_

## 4. 添付書類の確認

- 環境再生医初級認定講習に対応する科目一覧表  
 該当授業内容の詳細(シラバス等)  
 学校パンフレット(対象の学部・学科等を紹介したもの)

以上のとおり、環境再生医初級認定校を申請します。

20 年 月 日

学 校 名：

責任者役職：

責任者氏名：

印

## 環境再生医初級認定講習の対応履修科目一覧

登録希望の学部・学科名などく

&gt;

※複数の学科やコースを申請する場合、本紙を複写して、学科やコースごとに記載してください。

年 月 日 記載

初級認定講習項目	項目概要 (原則的なコンテンツ)	自校対応科目構成	単位数
1. 地球環境問題・自然環境復元概論	生物や自然に関する基礎知識を持ち、生物多様性の危機等、地球環境危機の根源について、国際的な視野の下で十分に理解していること。	①地球環境・気候変動 ②生物多様性・生態系・生物分類 ③環境倫理・哲学・思想・歴史 ④環境問題の国際動向等	
2. 自然環境の再生	農山村や河川、都市等における自然環境の保全・再生の動向及び技術について、基礎的な知識を持つこと。	①自然環境再生の動向 ②山林・農地の自然再生 ③河川・水辺の自然再生 ④都市における自然再生等	
3. 物質資源	資源や物質に関する循環型社会の構築について、課題に対する理解と基礎的な知識を持つこと。	①循環型社会の形成 ②産業・経済および社会活動の方向—エコロジカル・リテラシー、エコマテリアル、ゼロエミッション ③循環型社会と暮らし/海外例等	
4. 環境教育・市民活動	学校教育や生涯学習における環境学習の動向と課題について、基礎的な理解をしていること。	①環境学習・自然体験・学校ピオトープ ②NPO・地域コミュニティ再生 ③インタープリテーション・ファシリテーション 等	
5. 環境行政・関係法令	環境の保全・再生を進めるに当たって必要な条約と環境関連法の内容について、基礎的な知識を持つこと。	①環境基本法・生物多様性国家戦略 ②自然再生推進法・自然関連法 ③循環型社会形成推進基本法・リサイクル関連法令 ④環境教育推進法 等	
合計			
注釈・付記事項	<input type="checkbox"/> 項目ごとの必要単位の設定をする。 1. ____以上 2. ____以上 3. ____以上 4. ____以上 5. ____以上 <input type="checkbox"/> 必要な修得単位の合計を__単位以上とする。 <input type="checkbox"/> 校内「認定試験」を行う。 <input type="checkbox"/> 校内「認定特別講義」を行う。		

## 環境再生医初級認定講習の対応履修科目一覧（記入例）

登録希望の学部・学科名などく自然環境復元大学 環境再生学部 循環型社会形成学科 &gt;

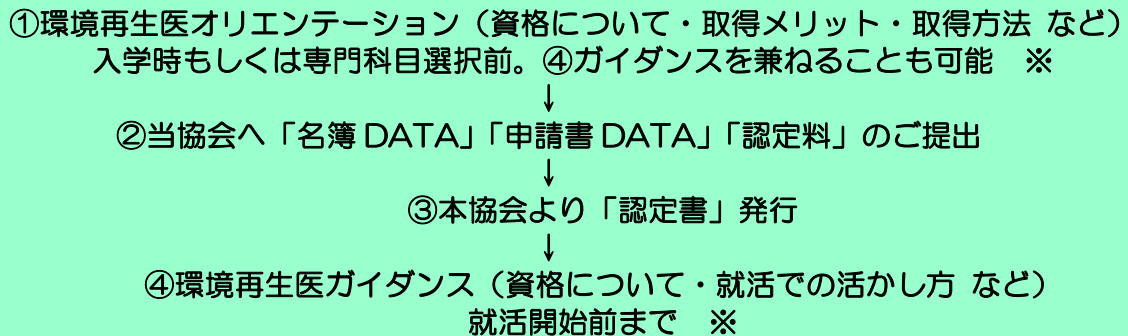
※複数の学科やコースを申請する場合、本紙を複写して、学科やコースごとに記載してください。

年 月 日 記載

初級認定講習項目	項目概要 (原則的なコンテンツ)	自校対応科目構成	単位数
1. 地球環境問題・自然環境復元概論	生物や自然に関する基礎知識を持ち、生物多様性の危機等、地球環境危機の根源について、国際的な視野の下で十分に理解していること。	①地球環境・気候変動	環境共生論 2
		②生物多様性・生態系・生物分類	生態学 2
		③環境倫理・哲学・思想・歴史	
		④環境問題の国際動向等	
2. 自然環境の再生	農山村や河川、都市等における自然環境の保全・再生の動向及び技術について、基礎的な知識を持つこと。	①自然環境再生の動向	農業応用実習 4
		②山林・農地の自然再生	保全生態学 2
		③河川・水辺の自然再生	造園学 2
		④都市における自然再生等	
3. 物質資源	資源や物質に関する循環型社会の構築について、課題に対する理解と基礎的な知識を持つこと。	①循環型社会の形成	木質バイオマス 2
		②産業・経済および社会活動の方向—エコロジカル・リテラシー、エコマテリアル、ゼロエミッション	農業経済論 2
		③循環型社会と暮らし/海外例等	資源エネルギー論 2
4. 環境教育・市民活動	学校教育や生涯学習における環境学習の動向と課題について、基礎的な理解をしていること。	①環境学習・自然体験・学校ピオトープ	NPO論 2
		②NPO・地域コミュニティ再生	観光レクリエーション論 2
		③インタープリテーション・ファシリテーション 等	
5. 環境行政・関係法令	環境の保全・再生を進めるに当たって必要な条約と環境関連法の内容について、基礎的な知識を持つこと。	①環境基本法・生物多様性国家戦略	環境法政策論 2
		②自然再生推進法・自然関連法	
		③循環型社会形成推進基本法・リサイクル関連法令	
		④環境教育推進法 等	
合計			22
注釈・付記事項	<p>■ 項目ごとの必要単位の設定をする。  1. <u>4</u> 以上 2. <u>4</u> 以上 3. <u>4</u> 以上 4. <u>4</u> 以上 5. <u>2</u> 以上</p> <p>■ 必要な修得単位の合計を <u>18</u> 単位以上とする。</p> <input type="checkbox"/> 校内「認定試験」を行う。 <input type="checkbox"/> 校内「認定特別講義」を行う。		

## 5. 認定校での「環境再生医認定者」輩出の方法

### ●「資格認定」までの流れ



※ 否めない事情により、オリエンテーション、ガイダンス開催が難しい場合は、最低限「専用リーフレット（本協会にて作成）」を配布願います。

### ●認定校のご登録後、下記事項をご連絡ください。

- ・何年度の何年次生から認定者を輩出するか
- ・貴校での上記スケジュール

### ●ご登録完了後、下記書類を担当者様へお送りします。

- ・認定申請書フォーマット
- ・認定推薦者名簿フォーマット
- ・専用リーフレット
- ・その他（試験問題/学内検定実施校のみ）

試験問題はサンプルです。公式テキスト「環境再生医」を参照の上、学校側で作成いただくことも可能です。その際には事前に協会事務局までお知らせください。

### ●「認定推薦者名簿」「認定希望申請書」の提出方法

必ず本協会宛にデータでご送付願います。

### ●「ガイダンス」開催、「専用リーフレット」配布

- ・ガイダンス開催とリーフレット配布は必須です。
- ・ガイダンスの講師役については、基本的に認定校ご担当者や、環境再生医制度をご理解いただいている方にて実施願います。また、本協会から説明者を派遣することも可能ですのでご相談ください（実費が発生することがあります）。

### ●認定料

8,000 円（お一人）

<振込先>

郵便振替口座：00190-1-545799

もしくは

銀行口座：三菱東京 UFJ 銀行神田支店（普）5567029

口座名義：とくていひえいりかつどうほうじんしぜんかんきょうふくげんきょうかい  
いずれも「特定非営利活動法人自然環境復元協会」

### ●認定書

原則として貴校ご担当者へ一括してお送りします。学生への授与は学校側にて願います。



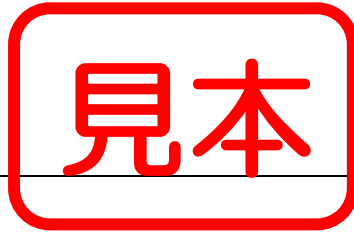
★ご記入は DATA 入力をお願いします(手書きによる誤植防止のため)

## 認定校用「環境再生医」初級資格 申請書

平成\_\_\_\_\_年度 認定校名\_\_\_\_\_

認定 NPO 法人 自然環境復元協会 宛

申請(登録)事項				受付事務記載欄	
申請要件		申請日		20____年____月____日	申請受付
(フリガナ) 氏名		性別	1. 男 2. 女		受理日・担当
		生年月日	19____年____月____日		
在学籍	学部			在学年次(申請日現在)	受験コード番号
	学科				
	コース・専攻				
	その他			____年次	
住所	●実家 ご卒業などで移転される方が多いため、ご実家の住所にて登録します。	〒_____		受験料納付	
	(認定書送付先) ★原則、認定書は学校のご担当者へ送付します。学校以外に送る場合のみ記載願います。	〒_____			
E-mail (出来るだけ PC) ★ご登録後の本資格に関するご連絡先となります。ご卒業後も使えるアドレスをお願いします。					



■原則として「環境再生医 ML」への登録をお願いします。ML にご登録いただきますと、環境に関する勉強会や、環境関連の人材募集情報などのご案内が届きます。

不要な方はチェックして下さい ⇒

■記載に当たっては判読しやすいよう丁寧かつ簡潔をお願いします。

■虚偽・詐称にならないよう事実のみ記載下さい。

事務記載欄 (こちらには記載しないでください)

認定校記載欄

認定委員会記載欄

